

武雄市立武雄中学校学校便り

叶武



NO. 27 令和3年3月24日
〒843-0024
武雄市武雄町大字富岡11606番地
TEL 0954-22-4105
文責 校長 熊野辰未

学校教育目標 「高い志と誇りを持ち、心豊かで輝く生徒の育成」

令和2年度 辞任式で

校庭の桜の花も満開となっています。春来るといった感じですが、春は別れの季節です。令和2年度の辞任式で述べた内容を掲載します。

みなさん、あらためまして、おはようございます。今年度末で転退職する職員を代表して一言お別れの言葉を述べたいと思います。今、ステージにいる先生方の武雄中における勤務年数には長短がありますが、それぞれに武雄中に対する思い入れはあると思います。私は、これまでは、転退職する先生方の紹介をしてきましたが、今日は、紹介される側になりました。本日は、今年度末で定年退職する身として、卒業式での式辞の一部も含め、別れに際しての言葉を伝えたいと思います。

一つ目は、毎年入学式の式辞で坂本龍馬の「何の志もなきところにぐずぐずして日を送るは大馬鹿者なり」という言葉をみなさんに紹介してきましたが、「高い志を持って未来を切り開いて行ってほしい」ということです。

今は、人生百年時代が到来すると言われますが、仮に人生80年として、それを1日24時間に置き換えると、みなさんの13歳、14歳は、何時になるかわかりますか。みなさんは、明け方の4時前後です。少し時間がたつと朝日を浴び1日の活動を始めるときです。何かを新たに始めるのは、これからというときです。

みなさんを支える多くの人たちは、みなさんの未来に期待しています。自分の力と可能性を信じ、大きな「志」を成し遂げるために、決して諦めることなく求め続けてください。

二つ目は、「出会いを大切にしたい」ということです。人は、出会いの数だけ成長し、別れの数だけ豊かになると言われます。

安岡正篤氏の「縁尋機妙、多逢聖因」という言葉があります。「良い縁がさらに良い縁を尋ねて発展してゆく様は誠に妙なるものがある。よい人に交わっていると、気づかないうちに、良い結果に恵まれる」ということです。いい機会、いい場所、いい人、い

い書物、そして豊かな自然との出会いを通して感動したり、啓発されたりしながら人は成長し、豊かな人生を形作っていくものと思います。これまでの出会いに感謝し、これから出会う人とも心を通わせながら、「この人に会えて良かった」と人から慕われ、そして頼られる人間に成長していつてくれることを願っています。

三つ目は、「感謝の気持ちを忘れないでほしい」ということです。

いつも身近にいて、みなさんの成長を祈り、温かく見守り、これまで支え励ましてこられた家族の方のお陰です。雨の日も、風の日も、暑い夏も、寒い冬もみなさんの笑顔を喜びみなさんがふさぎ込んでいたら心を痛み、ひたすらみなさんの成長を願ってこられています。「ありがとう」という言葉を忘れないでもらいたいと思います。

そして、最後にしっかり学んでもらいたいと思います。「学ぶ」ということは、学問をする。問いを学ぶということです。自分で問題を見つけ出し、その答えを自分で考えることです。教科だけでなく磨かれていない自分の中のすばらしい能力を磨くことです。生徒信条にも「今日も自分を磨きます」と掲げています。人間は信じがたいほどの能力に恵まれて生まれてきています。自分をもっと自分らしく、もっと魅力的に、もっとすてきに、もっと優しく、もっと勇気ある人間になるために学ぶのです。自分の中に眠っているさまざまなすばらしい能力を磨き、輝かせることによって周りの人を少しばかり幸せにし、世の中をより良いものにしていくために学ぶのです。校歌の2番に「学ぶ二千の若人がきづく希望の武雄中学」という歌詞がありますが、進んで学び、夢を叶えてもらいたいと思います。

「高い志と誇りを持ち、心豊かで輝く生徒」であってほしいと願っています。

そして、武中生の活躍が、県下に響き渡るようになることを祈念しています。

多大なるご支援、ご協力をいただきました保護者の皆様にもお世話になりましたと感謝の意を述べていたと伝えてください。

※ 長きにわたり大変お世話になりました。多大なるご支援・ご協力に対しまして感謝申し上げます。ありがとうございました。